

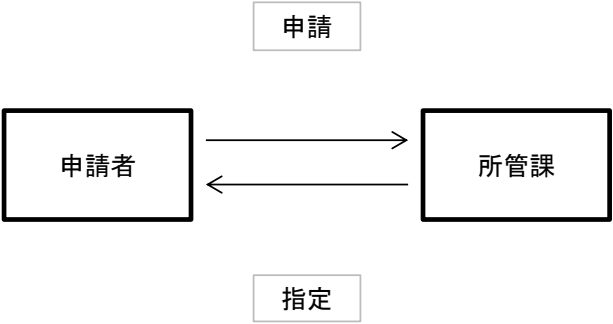
# 審査基準及び標準処理期間整理個表

番号 28

|   |  |       |
|---|--|-------|
| 処 分 名   | 市施行事業の住宅先行建設区への換地の指定                             |       |
| 処 分 の 概 要   | 市が土地区画整理事業の施行者である場合に、換地を住宅先行建設区内に定められるべき宅地を指定する。 |       |
| 根 拠 法 令 名   | 土地区画整理法（昭和29年法律第119号）                            |       |
| 条 項   | 第85条の2第5項  |       |
| 所 管 課   | 市街地整備課   |       |
| 経由機関での処理期間  |  | なし    |
| 所管課での処理期間   |  | 未設定   |
| 標 準 処 理 期 間   |  | 計 未設定 |
| 審 査 基 準   |  |       |
| 未設定   |  |       |
| <p>【根拠法令等】<br/>土地区画整理法<br/>（住宅先行建設区への換地の申出等）<br/>第八十五条の二 第六条第二項（第十六条第一項、第五十一条の四、第五十四条、第六十八条及び第七十一条の三第二項において準用する場合を含む。）の規定により事業計画において住宅先行建設区が定められたときは、施行地区内の宅地の所有者で当該宅地についての換地に住宅を先行して建設しようとするものは、施行者に対し、国土交通省令で定めるところにより、換地計画において当該宅地についての換地を住宅先行建設区内に定めるべき旨の申出をすることができる。<br/>5 施行者は、第一項の規定による申出があつた場合には、遅滞なく、当該申出が次に掲げる要件に該当すると認めるときは、当該申出に係る宅地を、換地計画においてその宅地についての換地を住宅先行建設区内に定められるべき宅地として指定し、当該申出が次に掲げる要件に該当しないと認めるときは、当該申出に応じない旨を決定しなければならない。<br/>一 当該申出に係る宅地に建築物その他の工作物（容易に移転し、又は除却することができるもので国土交通省令で定めるものを除く。）が存しないこと。<br/>二 当該申出に係る宅地に地上権、永小作権、賃借権その他の当該宅地を使用し、又は収益することができる権利（住宅の所有を目的とする借地権及び地役権を除く。）が存しないこと。<br/>三 当該申出に係る宅地についての換地に、第百十七条の二第一項に規定する指定期間を経過する日までに、建設計画に従つて住宅が建設されることが確実であると見込まれること。</p> |  |       |

※根拠法令や審査基準の内容全てを記載することができない場合は、それらが記載された文書等の縦覧をもって代えることができる。

手続の流れ



※根拠法令や審査基準の内容全てを記載することができない場合は、  
それらが記載された文書等の縦覧をもって代えることができる。